

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131

FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

【討議資料】

うだがわよしひで

緑豊かな街づくり

市議会ニュース

vol.115(2023年6月)

宇田川好秀



## 新たな障害者短期入所施設の整備について

### 議会質問

現在のしらゆりの家の現状について、切実な声が届いています。

家族の急な通院や入院といった一時利用でも利用が難しいケースや、介護者の身体的、精神的な負担を軽減するためのレスパイトとして利用しようとしても、月1回程度しか利用できない状況であるとのこと。この状況を改善するために、急な利用にも対応できる新たな施設を整備してもらえたらとの希望が寄せられています。

現在のしらゆりの家の利用状況は、直近ではコロナによる利用控えがあったものの、それ以前の3年間では、平成29年度の利用者数が413人、利用率は85.7パーセントであり、同様に平成30年度は466人、91.9パーセント、平成31年度は509人、81.1パーセントとほぼ満床に近い状態であると聞き、早急に施設を整備する必要性を実感したところです。そこで、新たな障害者短期入所施設の具体的な内容についてお尋ねします。

### 議会答弁 (奥ノ木信夫市長)

私はこれまで、障害者やその家族が地域で安心・安定して暮らし住み続けていけるよう、障害者短期入所施設しらゆりの家の移転に伴う定員の拡充や、重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所に対する補助制度の創設などに取り組んできました。

しかしながら、現状、しらゆりの家の利用率は極めて高く、障害者の御家族の急病等により一時的に利用しようとしても、利用がかなわない状況が発生していることも認識しています。

そこで私は、こうした状況を何とか解消しなければとの思いから、旧しらゆりの家跡地を活用した新たな障害者短期入所施設を整備する方針を決定したものです。

また、実際に障害者を抱える御家族の御苦勞や切実な思いをお聞きし、施設の建設について、決意を新たにしたところです。

施設の詳細については、今後の設計作業も踏まえながら検討していきますが、現時点では短期入所施設の利用ニーズに十分に対応するため、定員は現行のしらゆりの家の約2倍となる19人とし、また、旧しらゆりの家は平屋建ての施設でしたが、新たな施設は利用者のプライバシーを確保する観点から、男女別の2階建てフロアとする予定です。

さらに、災害時を想定し、障害がある方でも避難可能な福祉避難所の機能を持たせるための多目的室を設けるとともに、自家発電設備を備えることも検討しています。

## 障害者短期入所施設の新規整備について

### 障害者短期入所施設について

在宅の障害者について、介護者の疾病等により施設への短期間の入所が必要な場合に、入浴、排せつ、食事などの介護その他の必要な支援を行うもの。

### 現状と課題

- 旧しらゆりの家(柳崎1丁目地内)は昭和53年に開設→老朽化に伴い、平成28年4月から朝日高層住宅に移転し、社会福祉法人を指定管理者として運営。
- 川口市内には他に8カ所の短期入所施設がありますが、それぞれ定員が1～4名と少ないことや、新しらゆりの家(朝日高層住宅)の稼働率も約8～9割と高く、必要な方の利用に支障が生じています。

## 対 応

旧しらゆりの家跡地(柳崎1丁目)に、新たに障害者短期入所施設を川口市が整備する。(運営は指定管理者を想定)基本設計を令和5年度予算に計上、令和6年度に建設工事を実施し、令和7年度中の事業開始を目指す。

